




～韓国のチャドンチャのこと知っていますか？～

下関市総合政策部国際課
(釜山広域市派遣職員)
渡邊 繁

韓国からアンニョンハセヨ！派遣職員の渡辺です。お待たせしました、今回の派遣レポート、始まりま～す！

突然ですが、しげーるワンポイント講座です。まず、タイトルにある“チャドンチャ”。これは、韓国語で“自動車”のことですね。日本ではあまり馴染みのない韓国製自動車、今回は『韓国の自動車事情』と7月に釜山で開催された『釜山国際モーターショー』についてレポートしたいと思います！それでは、釜山ふ〇ぎ発見!! ティティティリ～

まず、韓国の自動車メーカーについてです。最近、韓国ドラマなどではよく見る韓国製自動車ですが、“代表的なメーカーは？”と聞いてピンとくる人は恐らく少ないでしょう。韓国の代表的な自動車メーカーは“現代 (HYUNDAI)”と“起亜 (KIA)”で、韓国で見かける自動車の約8割はこの2社の製品です。続いて、車種です。日本では最近コンパクトSUVが人気ですが、韓国では圧倒的にセダンの人気が高いという印象を受けます。そして、ボディカラーは、黒、白、灰、シルバーの4色で占められ、赤、青、黄などの派手なボディカラーの自動車はあまり見かけません。さらに車の窓には濃いスモークフィルムを貼ることが一般的です。

ここで、クエスチョンです。私が韓国で日本の自動車メーカーと見まちがえた韓国自動車メーカーはどこでしょう～か？お答えください。ティティティティティ～

正解は、レポートの後です。スーパーひ〇し君チャンスですよ(^_^)

続いて、釜山国際モーターショーの会場に行ってみましょう。会場は釜山最大級のコンベンション・展示センターである“BEXCO (ベクスコ)”です。釜山国際モーターショーは、ソウル国際モーターショーと隔年で開催されていますが、2020年は新型コロナウイルス蔓延の影響で中止となりましたので、今回は4年ぶりの開催となります。韓国からは“現代 (HYUNDAI)”、“起亜 (KIA)”、HYUNDAI の高級ブランド“HYUNDAI GENESIS”などと、海外からは“BMW”、“ミニ”、“ロールスロイス”を要する BMW グループを合わせた6自動車ブランドを含め、自動車関連の世界28ブランドが参加しました。自動車の未来像が窺える電気自動車 (EV) を中心とした展示のほか、電動バイク、電動キックボードなどが登場するスマートモビリティショーのイベントもあり、来場者に多彩な体験

を提供したモーターショーでした。私は韓国では自動車の運転はしませんが、自称・元走り屋の血が騒ぎ、運転席に乗れる展示車に試乗してやったぜっ！はっ!? すみません、口調が乱れました。最新モデルの自動車は、日本の車庫に眠っている平成13年式マイスウィートハニーと比べると、スマートフォンとガラケー携帯以上の差を感じました（ノド）シクシク。

いかがでしたか？韓国自動車についてのレポートでしたが、実際に韓国に来た時、日本の自動車との違いを見つけてみてください。私も知らない新しい発見があるかもしれませんよ♪

お待たせしました、正解発表です！

正解はホンダです。Hのエンブレムが似ていました。予想通りでしたか？外れた場合はボッシュートです(ニヤ)。以上、現場の渡辺でした、アンニョン!!



釜山国際モーターショー



左：現代（ヒョンデ） 右：ホンダ